

## 玖珠地区人権協 「同和問題」について視察研修

玖珠地区人権教育・啓発推進協議会では、あらゆる人権問題の解消を図るための教育・啓発活動の一環として、11月26日に8つの人権問題の1つである「同和問題」について豊後大野市隣保館を訪問して、フィールドワーク（実際に訪れる）研修を行いました。

研修では、地区のことを「むら」と表現して、講師の板井さんの案内で「むら」を歩いて、「むら」はいつごろ出来たのか。どのような人が「むら」人になったか。なぜ、どのような差別を受けたのか。部落解放はどのように進められたか。などについて、実際に訪れて、歴史的史跡を観察する現地見学と帰館後には、まとめ学習を行いました。

平成28年12月に施行さ

れた「部落差別解消推進法」が制定された背景には、明治4年の「解放令」により、法的には平等となったが、歴史的・社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域があることで、昭和44年に「同和対策事業特別措置法」が制定され、環境改善の面においては一定の成果があった。しかし、依然として「むら」人に対する差別心は、なかなか消えず、未だに持ち続け偏見の目で見える社会現象があることによるものである。

部落差別解消推進法（第一条）に「部落差別が存在する」ことや「部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現することを目指す」と、初めて部落差別問題の解決について明記

されています。部落差別問題の解消については、知識だけではなく、多くの人が差別の解消を推進する議論や「むら」人と「まち」人との交流を図り、フィールドワーク（現地を歩いて）研修などを行うことで、部落に対する偏見を解消し、正しい知識を学び「すべての人の人権が尊重される社会の実現」のための活動を行っていきます。



「豊後大野市隣保館」で  
まとめ学習をする参加者

## 第9回 スポンジボールテニス大会

11月24日、塚脇小学校体育館で、玖珠地区コミュニティ体育会主催の「第9回 スポンジボールテニス大会」を開催しました。

この日は19名の参加者が紅白に分かれての団体戦と個人戦（ペア）で対決。熱戦を制したのは白組、個人戦では麻生長三郎さん・麻生キリ江さんペアでした。



チーム優勝した白組

### 個人戦（ペア）成績

優勝	麻生長三郎さん 麻生キリ江さん
準優勝	山口 健二さん 豊田 克子さん
3位	広沢 俊幸さん 恒任恵美子さん



個人優勝の麻生長三郎さん(左)  
麻生キリ江さんペア

スポンジボールテニスは、年齢・性別を問わず誰でも楽しめる屋内スポーツとして体育会で取り組んでおり、毎週土・日の午後塚脇小学校体育館で練習をしています。初心者の方の参加も随時募集していますので、健康維持と仲間づくりにも、一緒に練習しませんか？

用具は準備していますので、体育館シューズをご持参のうえお気軽にのぞいてみてください。

（土・日午後1時～4時）  
塚脇小学校体育館